



おらが湊鐵道応援団報

第118号
勝田 | 阿字ヶ浦

応援団発足 10周年 支援ご協力ありがとうございます



■キハ205 記念運行
応援団 10周年のヘッドマークを付けた旧型車キハ205が記念運行され、車内や沿線は鉄道ファンで賑わいました。

10周年記念 プチイベント 第1弾を開催

おらが湊鐵道応援団が1月23日、平成19年の発足から10周年を迎えました。那珂湊地区の自治会、沿線の高校関係者、商工会議所などが結束して、「乗って残そう湊線」を合言葉に応援団が結成されました。翌年4月にひたちなか海浜鉄道が発足し、廃線の危機を脱してからも、沿線自治会や協力者の皆さんによる駅清掃をはじめ、各種イベントでの湊線の利用促進など、変わらぬご支援ご協力に感謝いたします。応援団では結成10周年を記念してプチイベントや写真展、コンサートなどを計画しています。第1弾として1月22日には旧型車の記念運行と、応援団から鉄道車両模型の海浜鉄道への贈呈式、応援団特製石焼きいも販売をおこないました。

■ケハ601 模型贈呈式

現在は那珂湊駅構内で応援団ギャラリーとして使われている日本初のステンレス気動車ケハ601の1/24スケール模型(手前)が応援団から海浜鉄道に贈られました。製作者は鈴木恭介さんです。那珂湊駅待合室に展示されています。



初日の出・初詣列車に400人が参加

海浜鉄道と応援団の共同企画で、10回目の開催になる初日の出・初詣列車の運行が今年も元日(日)におこなわれました。勝田発5時30分の急行あじがうら号の3輛は、早朝にもかかわらず今年も超満員。後続の快速なかみな号と合わせて約400人が乗車する盛況ぶりでした。今年の初日の出時刻は6時49分でしたが、水平線上の雲の上に初日が顔を出したのは約10分後でした。湊公園からの初日には海面から水蒸気が立ち昇る、珍しい「けあらし」を見ることができました。また、磯崎灯台下からの初日も海面に光の帯を見ることもできました。初参加の方からは「湊線のファンになっちゃいました」という声も聞かれ、応援団員も感激! この企画にご協力いただいた、企業・団体、各神社の皆様に厚くお礼申し上げます。



【主催】ひたちなか海浜鉄道株式会社・おらが湊鐵道応援団
【協力団体】酒列磯前神社・掘出神社・檀原神宮・天満宮・四郎介稲荷・和奏・茨城中央ほしいも協同組合・ホテルニュー白亜紀・ひたちなか商工会議所

各駅の清掃 今年もよろしくお願いします

駅名	2月5日(日)	3月5日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	駅迎町 幸町 湊泉町	小川 龍之口町
殿山	和田町・殿山町	七丁目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

朝8:30(中根駅・高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

冬の硬券フリー切符&応援券を発売しています

2月末日まで、湊線応援企画の「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の冬バージョンを那珂湊駅と勝田駅湊線窓口で販売しています。価格は応援券100円とフリー切符900円のセット価格1,000円です。冬バージョンのフリー切符は特大の「D型倍寸硬券」です。応援券には雪降る田園に行く夜汽車が描かれています。四季毎に発行される応援券4種類を揃え、那珂湊駅窓口に表示された方にはプレゼントを差し上げます。



■2月5日(日) 午前9時~11時頃まで
■那珂湊駅1番線ホーム

野菜と干物の朝市 毎月第一日曜日に開催
【海浜鉄道関係】
◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>
◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>
【応援団関係】
◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
◇応援団HP <http://minatosen.com/>(湊線どっと混む)
※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

応援団発足10周年に寄せて

おらが湊鐵道応援団 団長 佐藤 彦三郎

平成19年1月23日設立された応援団は、今月で10周年を迎えました。当初、だれも廃線阻止運動に携わったこともなく手探りの中、42に及ぶ団体の賛同を得て「乗って残そう湊線」をスローガンに結成されました。翌20年4月、市をはじめ県や国の強力な支援も頂き、ひたちなか海浜鉄道が発足し、廃線の危機を乗り越えてからも、地域の皆さんと毎月の駅清掃や駅案内を継続する一方、鉄道を活かしたまちづくりを掲げて、新たな交流人口増や地域経済の下支えを目指して取り組んで来ました。海浜鉄道発足前には70万人台にまで落ち込んだ年間利用客は、23年3月の東日本大震災による大きな被害を乗り越え、現在は100万人へ届く勢いで、海浜公園までの延伸計画へと邁進しています。観光で訪れる乗客も当初より年間15万人以上増加するなど、交流人口増に湊線は貢献してきました。更に、湊線の延伸が実現できれば地域の下支えをも夢ではないと確信しております。一昨年のゴールデンウィーク期間中の海浜公園来園者52万人から紐解くと、湊線利用者2万人のうち、5千5百人が那珂湊駅で応援団発行の乗車証明書を受け取りました(那珂湊駅降車率27%)。延伸が実現すれば、ゴールデンウィークの利用者だけでも数倍になる予想です。これからのまちづくりは、地域の底力が次代を創ると思っています。特に、那珂湊地域には宝物が沢山あります。地域の歴史や自然、数多くの特産物と、それを育む人々。時を超え時間を楽しむ発想で、これら素材を磨き広げ、地域内外の共感者を増やして継続できる観光や産業でもてなしのできるまちを作りたいと思っています。これからも、湊線とともに応援活動をよろしく願います。

夢の実現に向けて鉄道とまちの活性化に努力

ひたちなか海浜鉄道社長 吉田 千秋

新年あけましておめでとうございます。昨年は残念ながら、ゴールデンウィークを前にした国営ひたち海浜公園のネモフィラの早咲きや夏以降の行楽シーズンの天候不順の影響を受け、東日本大震災翌年を除き、初めて前年の輸送人員を下回ることとなりました。とはいえ、通勤・通学のお客さまは前年以上の安定したご利用をいただいております。開業以来2番目の成績となる見込みです。これは、普段からの皆さまのご支援の賜物であり、深く御礼申し上げます。さて平成29年は、開業10年目という節目でもあり、これまでの弊社運営の中間見直しの年となります。最大課題は、単年度収支黒字化です。このために、これまでの営業戦略を洗いなおすとともに、効果的な施策を講じ、より多くのお客さまにご利用いただくとともに、他社に比べ劣りがちだった広告・土地物件貸付などの付帯事業の充実化によりベースとなる収入を確保、合わせて経費節減に努めてまいります。また引き続き、まちづくりに携わるみなさんとのタイアップを進め、ひたちなか市の活性化にも尽力してまいります。その先に見えるのは路線延伸。これについては、各界から力強いエールをいただいております。これらの声援を糧に、夢の実現に向けて、社では鉄道とまちの活性化に引き続き努力を続けてまいりますことをお誓いし、新年のご挨拶とさせていただきます。今後とも、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



「乗車証明書」でおトク!

★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。
★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。
★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。
★乗車証明書は湊線フリー切符でも代用できます。

